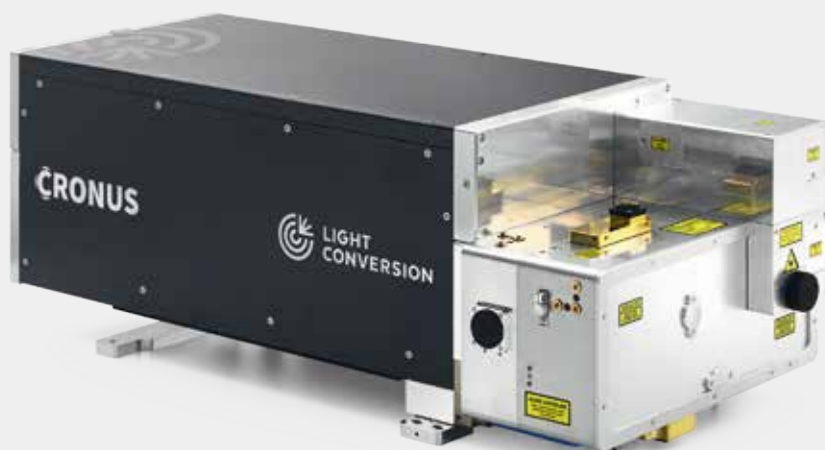


先進的な 非線形顕微鏡用のレーザ光源



ディープイメージング用の
高いパルスエネルギー

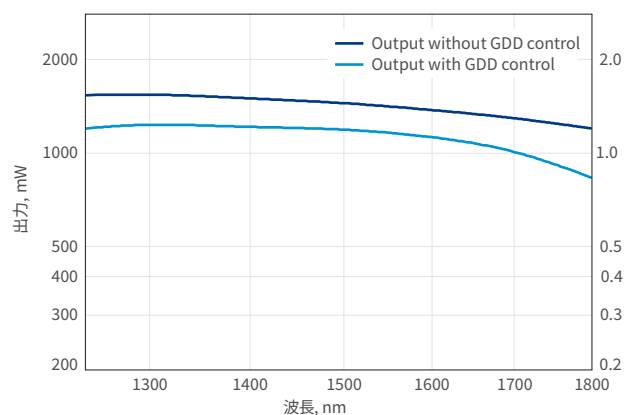
1250～1800 nmの波長可変範囲で、
3Pイメージングに対応

最短50 fsのパルス幅で、
高いピーク出力を達成

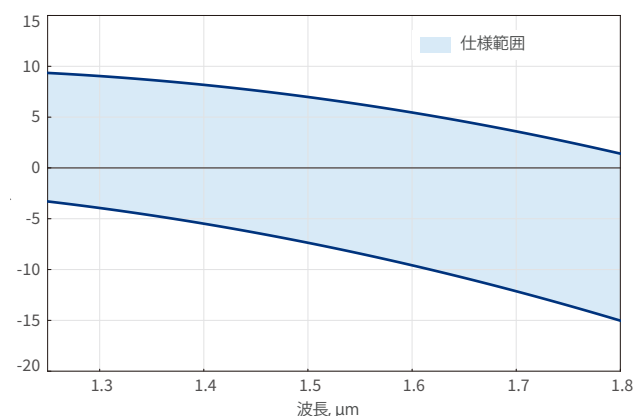
波長とGDDの自動制御で、
簡便な操作性を実現

市場をリードする
パルスエネルギー安定性

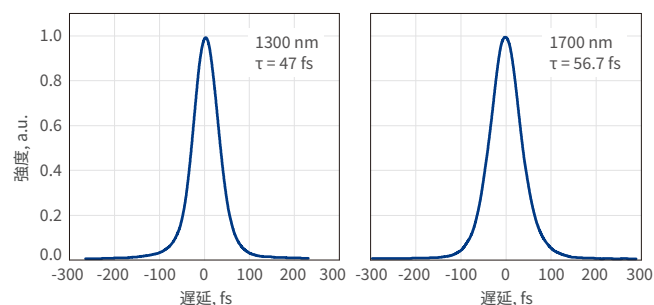
出力およびパルスエネルギーと波長の関係 (1 MHz時)



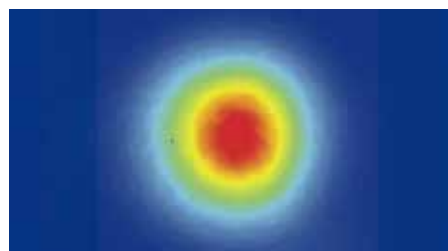
GDD制御範囲



パルス幅典型値 (波長: 1300 nmと1700 nmの場合)



ビームプロファイル (波長: 1300 nm)



仕様

モデル	CRONUS-3P		CRONUS-3P (出力制御機能付き)	
波長可変範囲	1250 – 1800 nm			
繰り返し周波数 ¹⁾	シングルショット～1 MHzまたは2 MHz			
	1300 nm	1700 nm	1300 nm	1700 nm
パルス幅	< 50 fs	< 65 fs	< 50 fs	< 65 fs
平均出力	> 1100 mW @ 1 MHz > 800 mW @ 2 MHz	> 800 mW @ 1 MHz > 500 mW @ 2 MHz	> 1000 mW @ 1 MHz > 700 mW @ 2 MHz	> 700 mW @ 1 MHz > 400 mW @ 2 MHz
GDD制御範囲 ²⁾	-4 000 から+9 000 fs ²	-12 000 から+3 500 fs ²	-4 000 から+9 000 fs ²	-12 000 から+3 500 fs ²
ビーム径 ³⁾	2 – 4 mm			
ビーム品質 (M ²)	< 1.2			
ビーム楕円率	> 0.8			
ビーム拡がり角	< 1 mrad			
ビームポインティング安定性	< 100 μrad			
長時間出力安定性 (24時間) ⁴⁾	< 1 %			
パルスエネルギー安定性 (1分) ⁴⁾	< 1 %			

GDD制御なしのメイン出力

平均出力 ⁵⁾	> 1500 mW @ 1 MHz > 1000 mW @ 2 MHz	> 1050 mW @ 1 MHz > 700 mW @ 2 MHz	n/a
--------------------	--	---------------------------------------	-----

その他の出力

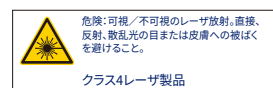
補助の1030 nm増幅器出力	1030 $\pm$ 10 nm, 40 Wまで, 2 MHzまで, < 250 fs		
オプションの680 – 920 nm増幅器出力	680 – 920 nm, > 1500 mW @ 1 MHz 又は > 1000 mW @ 2 MHz (@ 920 nm), < 290 fs (圧縮可能 < 50 fs) ⁶⁾		
オプションの1030 nmオシレータ出力	1030 $\pm$ 10 nm, 500 mWまで, $\approx$ 65 MHz, $\approx$ 200 fs		

動作環境要件

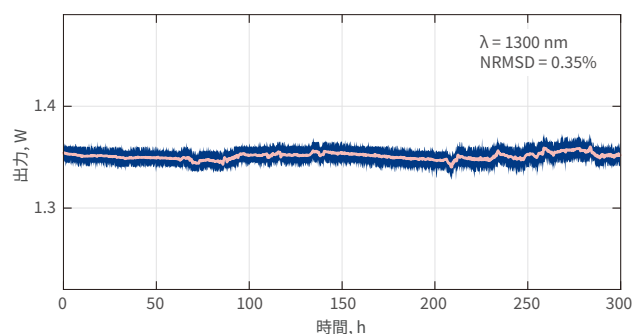
参照www.lightcon.com

- ¹⁾ 繰り返し周波数を低くしてパルスエネルギーを高くするオプション提案が可能です。
- ²⁾ 連続分散制御: -4000 fs^2 から $+4000 \text{ fs}^2$ の顕微鏡を補正。
- ³⁾ $1/e^2$ (コンプレッサ後出力にて測定)

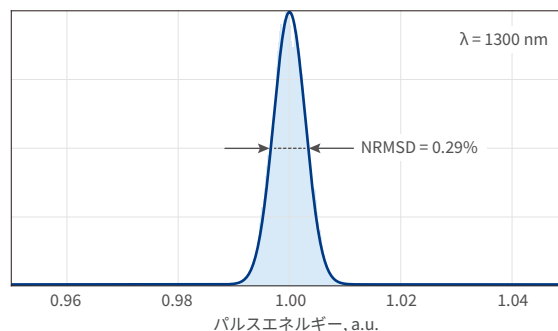
- ⁴⁾ NRMSD (正規化平均二乗偏差) 値。
- ⁵⁾ v1のみの値です。詳細については、弊社にお問い合わせください。
- ⁶⁾ GDD制御なしの外部コンプレッサオプション使用時、920 nmでの透過率は70%未満。



長時間パルス安定性典型値 (波長: 1300 nm)



パルスエネルギー分布典型値 (波長: 1300 nm)



外形図

CRONUS-3P 外形図

